

山陰近畿自動車道（鳥取～覚寺間）の都市計画素案に係る公聴会の公述に対する対応方針について

令和7年5月1日

生活環境部くらしの安心局まちづくり課

- 1 開催日時： 令和2年10月30日（金） 午前10時～10時40分
- 2 場 所： 鳥取県庁講堂
- 3 公 述 人： 6名
- 4 傍 聴 人： 17名
- 5 公述の概要と対応方針

公述順	公述の概要	対応方針
1	・江津地区の住民の環境配慮と土地の利用価値の点から、本線及び取り付け道路を袋川に沿うように、ルートの変更を希望する。	・ルートは計画段階評価にて地域の皆さま等からご意見をいただきながら検討して、政策目標を定め、概略ルートを選定されております。（検討経緯及び政策目標については、以下のとおり）選定した概略ルートに基づき、ルートを計画されていますので、ご理解をお願いします。 ・なお、騒音振動などに係る対策については、事業者である国土交通省が、事業化後に地域の皆様のご意見を伺いながら具体の検討を行うこととしています。 （検討経緯及び政策目標） ・ルートは、事業者である国土交通省が平成28年度から計画段階評価を実施するとともに、平成30年度からはアンケート調査、オープンハウス、ワークショップなどにおいて住民や事業所などから幅広く意見を聴取し、検討してまいりました。 ・アンケート調査等において出された意見を踏まえ、改善すべき地域課題として5つの政策目標（日常生活の利便性・安全性の向上、災害時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保、救急医療機関への速達性向上、産業活動の支援、観光振興の促進）を設定し、第三者による有識者委員会の助言をいただきながら、全ての政策目標の達成が見込め、地域ニーズの高い渋滞や事故、災害時の代替性などにおいて特に優れた効果が期待され、総合的に優れたルート（全線バイパス）が選定されました。
2	・千代水 IC が接続する鳥取市千代水地内の市道湖山商栄線は、降雨時に冠水が起こるため、道路建設と自然災害への安全性の確保や対策が考えにくく不安に感じる。 ・ゼロベースや代替案を含めたルート選定の再検討を行ってほしい。	
3	・ルートの近隣住民だが、ルートが決まってから説明されても困る。 ・このようなやり方は、反対する機会も与えられず、「この形で承知してください。」という一方的なものであり納得できないため、ルートの再考を要望する。	
4	・ルートは、鳥取市五反田周辺の危険物取扱ヤードに近接しているが、ルート計画においてリスク想定と環境影響等を網羅のうえ、後世からも支持を得る「都市計画」を策定されることを願っている。	
5	・ルートは、製造施設の建設予定地であり、代替地の選定は容易ではなく、防災上の観点からもルートの見直しを強く要望する。	
6	・ルート近隣の騒音振動について、出来上がってから改善すると言われても困る。ルートを江津集落から離すことを要望する。ルートを変更できないのであれば、補償していただきたい。	